

親の異変 あのときどうすれば よかつたんだろう？



「私はあまりにも情報を持っていなかった。もしもあのとき知っていたら、と思うことがすごく多い」——そう後悔を口にするのは、「食堂のおばちゃん」作家として知られる山口恵以子さん（左写真）。最愛の母・絢子さんと過ごした最期の日々をあたたかな筆致で綴った新著『いつでも母と』（小学館刊）を読むと、母の認知症発症から介護、自宅での看取りまで、戸惑いと不安の中、家族が決断しなければならないことがいかに多いかがわかる。親の異変、それは突然やってくる。

「頼りになる母がまさか……と認めたくなかつた」
昨年1月、作家の山口恵以子さん（61才）は91才の母を自宅で看取った。山口さんは3人の兄、山口さんと同居していた母に、認知症の症状が顕著に表れるようになつたのは2000年のこと。父の急死が引き金になった、と山口さんは話す。

「テレビのリモコンを風呂場のバスタオルの間に突っ込んだり、私の口座に振り込まれたお金を『前に貸したもの』と言い出したり、少しづつ変だと思う行動が増えていました。でも当時の私はまだ作家になる前で、実家暮らしで収入も少なかつた。頼りになる母が認知症だなんて思いたくなかったんです」（山口さん）

いまや認知症は身近に起ころう病だ。内閣府の調査によると、12年時点では認知症の高齢者数は462万人と、65才以上の約7人に1人が認知症であることが判明。さらに、25年には5人に1人になるといわれている。

シニアメンタルクリニック日本橋人形町の院長・井関栄三さんは言う。

「山口さんのお母さんのように家族を亡くすなどの精神的ショックを機に、症状が表面化することはよくあります。ただし、ショック 자체が認知症を引き起こすわけではありません。認知症は発症する何年も前から兆が表れていることがあります。ただし、ショック

前から兆が表れていることが多いのです」

認知症

昨年1月、作家の山口恵以子さん（61才）は91才の母を自宅で看取った。山口さんは3人の兄、山口さんと同居していた母に、認知症の症状が顕著に表れるようになつたのは2000年のこと。父の急死が引き金になった、と山口さんは話す。

認知症の場合は、「前兆の早期発見が大事になる」と井関さんは言う。

「認知症にはいくつか種類があり、小体型が約2割を占めます。これら

の認知症は、軽度認知障害（MC

I）の段階で病院にかかる、投薬や生活上の注意で進行を遅らせるこ

とができます。

MC-Iは、認知機能の一部が低下しているが日常生活に支障はない状態。いずれ進行すれば認知症になりますが、早めに病院にかかる、経過が大きく変わってきます

	加齢による物忘れ	認知症による物忘れ
体験したこと	一部を忘れる (例)朝ご飯のメニュー	すべてを忘れる (例)朝ご飯を食べたこと自体
物忘れの自覚	ある	ない
探し物に対して	(自分で)努力して見つけようとする	誰かが盗ったなどと、他人のせいにすることがある
日常生活への支障	ない	ある
症状の進行	極めて徐々にしか進行しない	進行する

（出典・政府広報オンライン）

全国必読

コロナ感染リスク徹底的に下げる選択

電車かバスか、座るか立つか
衣服はナイロンかウールか
毎日持ち歩くべきモノとは

病院清掃の専門家と医師が教える 抗菌 殺菌 脱ウイルス大作戦

愛子さま 偏差値72で内部進学秘めた胸中

特別定価 430円

3月19日号

顔にぴったりフィット
手作り立体
マスク型紙

女性アバン



中居正広と安住紳一郎
退所にまつわる不穏な関係

松本潤「4人vs1人」孤独の闘い

杏絶句。東出昌大が突然自宅に!

堀雅子さまと初対面! 進次郎&滝クリの正念場

城島茂、パパに! TOKIO愛込めた長男の名

LiLiCoが明かした「50才妊活のあきらめどころ」



免疫力を高める温活レシピ
ハマる! バズる! 極旨ゴクうま
ホットサンド

春の献立7Daysレシピ
みのる食堂

夫も子供も自宅に籠つて、ああ家庭も崩壊中…
大特集 ちゃんと準備すれば「死ぬ」って怖いことじゃない
がんの名医たちが語る「患者の残した最期の言葉」
死の際に直面する「臨死体験」「お迎え現象」「虫の知らせ」
亡くなつたあの人との「もう一度話したい」と奇跡の対話術
あの有名人が選んだ「素敵なお葬式」

検査難民が出崩壊医療に殺される
韓国は一日6万人超で、日本は900人だけ、「検査ができない」は眞実な時代だ